

SDG Summitに向けて

(公財)地球環境戦略研究機関
持続可能性ガバナンスセンター
小野田真二



2019年7月23日(火) 10:30~12:30

IGESメディア勉強会 -地球環境課題と国際動向 解説シリーズ 第3回-
ハイレベル政治フォーラムに見る「SDGsと気候変動のシナジー」とは何か

IGES
Institute for Global
Environmental Strategies

SDGsサミットとは①

- 4年に1度の頻度で国連総会の下で開催されるHLPF（9月24-25日開催）
 - 9/23 気候アクション・サミット
ユニバーサル・ヘルス・カバレッジに関する国連ハイレベル会合
 - 9/26 開発資金のためのハイレベル対話
 - 9/27 S.A.M.O.A. pathwayに関するハイレベルレビュー
- 各国首脳および政府代表が参加（日本は安倍首相が参加予定）
- SDGsサミットの目的
 - 2030アジェンダとSDGの重要性について、**世界的な認識を高める**機会を提供
 - 2030アジェンダとSDGsの17のゴールの実施における**進捗をフォローアップし、レビュー**すること（どこが不十分か、何ができるかを確認）
 - SDGs達成に向けた行動へのさらなる**支援を動員**すること
 - 政府および全てのステークホルダーの**自発的なコミットメントを促進**し、行動を加速させること（オンラインフォームで登録可能）



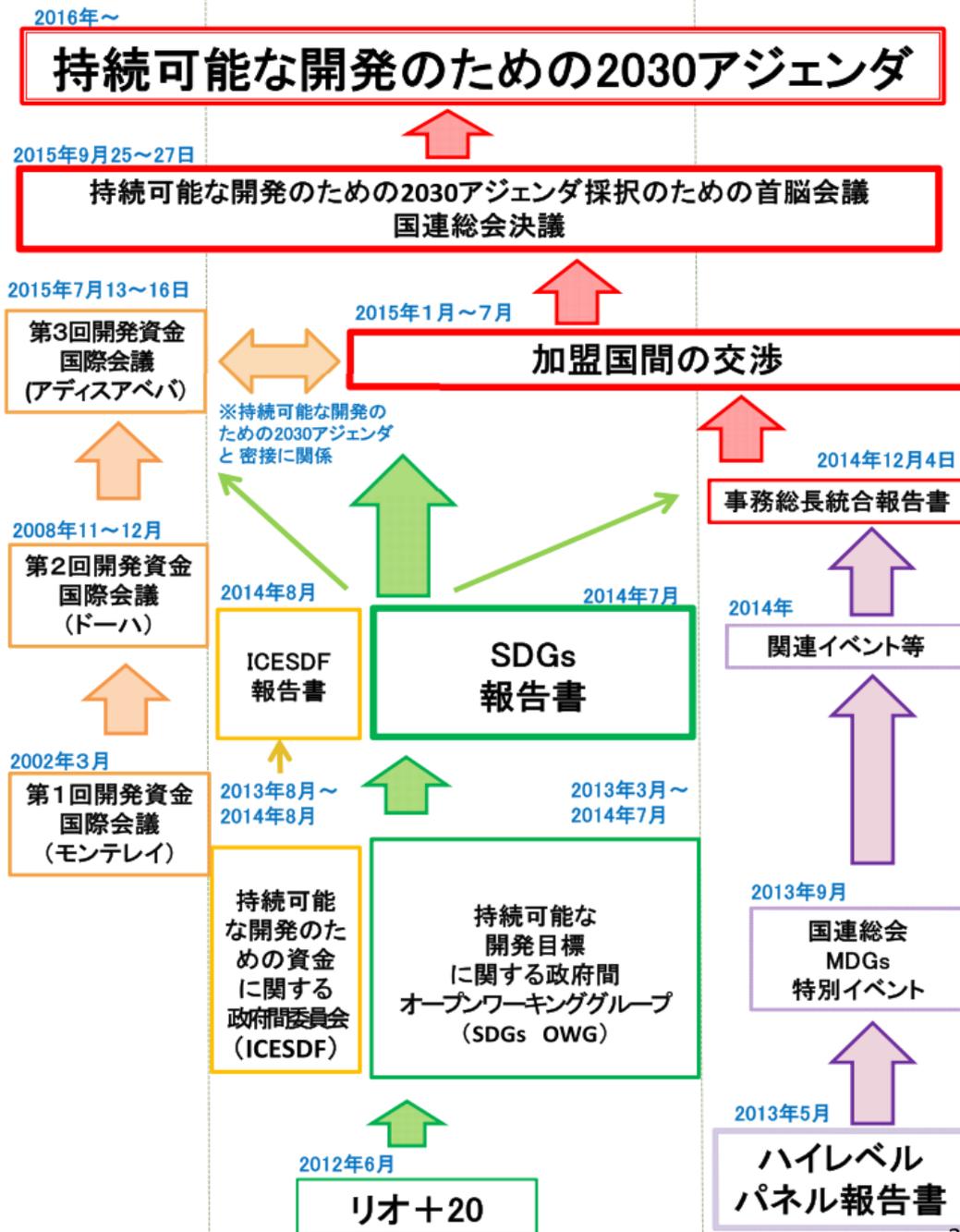
SDGsサミットとは②

- グローバル持続可能な開発報告 (GSDR) によるインプット
 - 国連やそれ以外の情報を含め、持続可能な開発に関する様々な報告書を評価して、とりまとめたもの。
 - **科学と政策のインターフェースを強化し、政策立案者が貧困撲滅と持続可能な開発を促進するのを支援する強力な証拠に基づく手段を提供。**
- 各国首脳および政府代表による**政治宣言を採択予定**
 - 2030アジェンダとSDGsの実施ペースを加速するための政治的指針
- 特別イベントも開催予定
 - SDGsビジネスフォーラム (SDG Business Forum)
 - 地方・地域政府フォーラム (Local and Regional Governments Forum)
 - 市民社会とのイベントなど



SDGsサミットなどの背景

- 毎年7月に開催されるECOSOCの下でのHLPFは、リオプロセスの流れ
 - リオプロセスでは、毎年5月頃にCSDでレビューを実施
 - リオ+20で、CSDに代わりHLPF設置を決定
- SDGsサミットは、MDGsプロセスの流れ
 - MDGsでは、5年ごとに首脳会合を開催
- 開発資金ハイレベル対話は、開発資金会議の流れ
 - アディスアベバ行動目標(AAAA)の要素は2030アジェンダに統合



MDGsサミットでは、どうだったか？

- 2010年のMDGsサミットでは、MDGsの進捗における成功、引き続き残る課題、2015年までの行動指針を含む**成果文書**を採択
- 日本は菅首相(当時)が参加し、「**菅コミットメント**」を発表
 - 2011年からの5年間で、世界エイズ・結核・マラリア対策基金への当面最大8億ドルを含む、保健分野への50億ドルの支援、および
 - 教育分野への35億ドルの支援を約束
 - 母子保健支援モデル“EMBRACE”(Ensure Mothers and Babies Regular Access to Care)、基礎教育支援モデル「スクール・フォー・オール」も提案

→ SDGsサミットでも、日本政府が何らかの発表？



成果文書案の概要①

Gearing up for a Decade of Action and Delivery for Sustainable Development: Political Declaration of the SDG Summit

- I. 我々の宣言 (Our Commitment)、II. 我々の今日の世界 (Our World Today)、III. 加速した行動への呼びかけ (Our Call to Accelerated Action)、の3章構成
- GSDRと事務総長のSDGs進捗報告を歓迎
- いくつかの分野で進展
 - 極度の貧困および子供と新生児の死亡率の削減、電気と安全な飲料水へのアクセスの改善、失業の改善、環境保護地域の拡大など
- 進展が遅い分野
 - 貧困撲滅のターゲット未達の懸念、ジェンダー平等と女性のエンパワメント進展の遅さ、国内および国際的に富・収入・機会の不平等の拡大、生物多様性の損失、環境劣化と気候変動
 - 世界の紛争と不安定の拡大・激化、自然災害の増大は、SDGs達成を脅かす要素
- **全てのレベルで全てのステークホルダーの行動を加速**させる必要性を認識



成果文書案の概要②

Gearing up for a Decade of Action and Delivery for Sustainable Development: Political Declaration of the SDG Summit

- 2030アジェンダの統合的な要素である**AAAA**を実施するための協調行動の必要性と、それらと**パリ協定との相互関連性**を認識
- 以下にコミット
 - 誰一人取り残さない
 - 適切でよく方向付けられたファイナンス(ファイナンスギャップを埋める、政策の対象)
 - 国の実施の強化(野心の強化、国の計画・政策・ファイナンス枠組みへの統合)
 - より統合的なソリューションのための制度の強化(シナジー、トレードオフへの取組)
 - 実施を加速するためのローカルアクションの強化
 - レジリエンスの構築(**仙台防災枠組**の実施支援を含む)
 - 国際協力を通じた課題解決とグローバル・パートナーシップの強化
 - 持続可能な開発のためのデジタルトランスフォーメーションにより重点をおいた科学・技術・イノベーションの活用
 - SDGsのためのデータへの投資
 - HLPFの強化(参加の強化、VNRのピアラーニングの強化))



From Commitment to Action